様式 1

観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和 7 年 7 月 11 日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）仁淀ブルー観光協議会	
マーケティング･マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 高知県土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村	
所在地	高知県高岡郡佐川町乙 2060-2（JR 西佐川駅内）	
設立時期	平成 27 年 12 月 17 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	5 人【常勤 5 人（正職員 4 人・有期雇用 1 人)】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 大原　哲夫 （出身組織名） 仁淀川町観光協会	仁淀川町の観光協会会長・商工会会長として、仁淀川流域 6 市町村のまとめ役であり、地域の様々なパイプ役として様々な取組で成果をあげている。
データ収集・分析等の専門人材（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー）	（氏名） 西岡　由紀「専従」 （出身組織名） 正職員	旅行会社で 13 年間勤務した経験から、国内外の旅行手配等全般にわたり高い能力を持つ。 地域マネジメントやマーケティングを担当する。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	（氏名） 山﨑　豊久「専従」 （出身組織名） 正職員	地方自治体で財政・観光等の業務に従事し、退職後は、公益社団法人の事務局長として勤務した。 事務局長として当法人の持続可能な運営のため、運営収支や財源確保等に関する検討を行う。
旅行商品の造成・販売・プロモーションの責任者	（氏名） 西岡　由紀「専従」 （出身組織名） 正職員	旅行会社で 13 年間勤務した経験から、国内外の旅行手配等全般と観光地域マーケティング・プロモーション・関係者との合意形成について高い知見と能力を持つ。
受入部門の責任者	（氏名） 高野　水奈「専従」 （出身組織名） 正職員	これまでの勤務経験を活かし、関係者との合意形成について高い知見を持ち、当法人の受入環境整備や運営管理事務を担当。

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	・高知県観光振興スポーツ部地域観光課（広域観光の推進・人材支援・財政支援)） ・高知県産業振興推進部仁淀川地域本部（体験型観光の推進） ・土佐市産業振興課（地域づくり・地域資源を活かした観光素材の発掘磨き上げ・旅行商品づくり・地域ネットワークづくり、財政支援） ・いの町産業経済課（同上） ・仁淀川町企画振興課（同上） ・佐川町まちづくり推進課（同上） ・越知町企画課（同上） ・日高村産業環境課（同上）
連携する事業者名及び役割	・（一社）土佐市観光協会（地域活性化の視点を持った観光素材の発掘・磨き上げ・旅行商品づくり、地域ネットワークづくり、観光情報の発信、各種データ収集） ・（一社）いの町観光協会（同上） ・仁淀川町観光協会（同上） ・（一社）さかわ観光協会（同上） ・越知町観光協会（同上） ・（一社）日高村観光協会（同上） ・体験プログラム事業者（着地型体験プログラムの企画・運営・受入） ・宿泊施設（着地型旅行商品の紹介） ・商工関係者・商工団体 土産店（土産品・特産品の販売） 飲食店（地域産品を活かしたグルメ開発、外国人観光客の受入対応） ・農林水産団体（農林漁業体験プログラムの開発・運営、仁淀川清流保全） ・交通事業関係者（観光客への交通サービスの提供）
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】①② （観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置） ① 地方自治体、観光協会会長が当法人の理事会・総会において役員として参画し、法人の活動方針等の意思決定に関与している。 観光協会は各市町村の商工団体、宿泊・体験・交通事業者等が役員となって組織されており、定期的に開催される会議で DMO 法人の活動も共有され、意見も集約されている。集約された意見は、当法人の理事会・総会において観光協会会長が観光関連団体の意見として当法人の活動方針等に反映される仕組みになっている。 また、令和 6 年度より事業計画や進行管理に関し、理事会に意見を述べることができる行政、観光関係団体や経済団体で組織する「広域観光推進部会」を設置した。 ② 四半期（3 ケ月）毎に、当法人が主催するワーキンググループを開催している。 地方自治体・観光協会の実務担当者（理事を含む）を中心に、観光関連団体がテーマ別に参画し、DMO 推進事業の進捗報告や流域市町村・事業者・地域が連携して戦略的に取り組む機会を創出している。
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	・観光による地域づくり活動について各自治体の広報誌等や仁淀川清流保全推進協議会を通じ「観光×環境保全×地域づくり」に関する取組みについて、周知や参加促進を行っている。

法人のこれまでの活動実績	【活動の概要】

事業	実施概要
情報発信・プロモーション	・平成 28 年度　ポスター制作 ・平成 28 年度　広告宣伝（空港・JR 等看板掲示、デジタルサイネージ） ・平成仁淀ブルー通信の配信（隔週配信） ・平成 28 年度　高知・仁淀川エリアの旅ガイドブック制作・配布（毎年更新） ・SNS 発信（Facebook、Twitter、Instagram、YouTube） ・令和 2 年度　ホームページ多言語サイト開設（英語・中国語繁体字・簡体字） ・令和 3 年度　映画「竜とそばかすの姫」舞台のモデル地として流域周遊の促進・広報 巡回パネル展開催、流域内事業者連携・映画半券キャンペーン実施（61 施設参加） ・令和 3 年度　ホームページの充実（旅行会社・メディア向けページの作成）配信 ・令和 3 年度　動画制作（春・夏・秋冬編、多言語)、配信 ・令和 4 年度　映画「竜とそばかすの姫」公開 1 周年記念として流域周遊の促進（Instagram 投稿キャンペーン） ・令和 5 年度　「NIYODO BLUE」ガイドブックと簡易版パンフレット作成･配布 ・令和 6 年度　「NIYODO BLUE」ガイドブックと簡易版パンフレット作成･配布
受入環境の整備	・平成 28 年度　ガイド養成研修実施 ・平成 28 年度　高知・仁淀川エリアの旅ガイドブック制作英語版（毎年更新） ・令和元年度　JR 観光列車おもてなし（お手振り等） ・令和 2 年度　広域観光案内（JR 西佐川駅 仁淀ブルースクエア） ・令和 2 年度　公共交通で行く仁淀ブルーパンフレット制作日本語・英語・中国語繁体字（毎年更新） ・令和 2 年度　ホームページ多言語サイト開設（英語・中国語繁体字・簡体字） ・令和 3 年度　ガイド養成研修実施 ・令和 3 年度　広域観光案内実施（JNTO 認定外国人観光案内所登録） ・令和 3 年度　仁淀ブルースポットガイドネット予約構築 二次交通対策　貸切タクシープラン手配ネット予約構築 ・令和 3 年度　バリアフリー研修の実施（ユニバーサルツーリズムの取組） 事業者向け貸出「牽引式車いす補助装置」導入 ・令和 5 年度　観光タクシーツアー24 時間オンライン予約システムと 2 種類の選択プラン構築 ・令和 6 年度　観光タクシーツアーのインバウンド化と事前決裁(英語・中国語繁体字)

	観光資源の磨き上げ	・平成 27 年（一社）仁淀ブルー観光協議会設立 旅行業（第 2 種）の登録を行い、様々な体験商品を造成、以後、継続して商品造成・磨き上げを実施 ・令和 3 年度「仁淀ブルー体験博」を開催（10/22～11/30） 仁淀川流域 6 市町村で、33 プログラム企画・造成 ・令和 4 年度「仁淀ブルー体験博」を開催（9/23～11/26） 仁淀川流域 6 市町村で、53 プログラム企画・造成 ・令和 5 年度「仁淀ブルー体験博」を開催（9/24～11/25） 仁淀川流域 6 市町村で、53 プログラム企画・造成 ・令和 6 年度「仁淀ブルー体験博」を開催（9/28～11/23） 仁淀川流域 6 市町村で、56 プログラム企画・造成

【定量的な評価】
観光客入込数

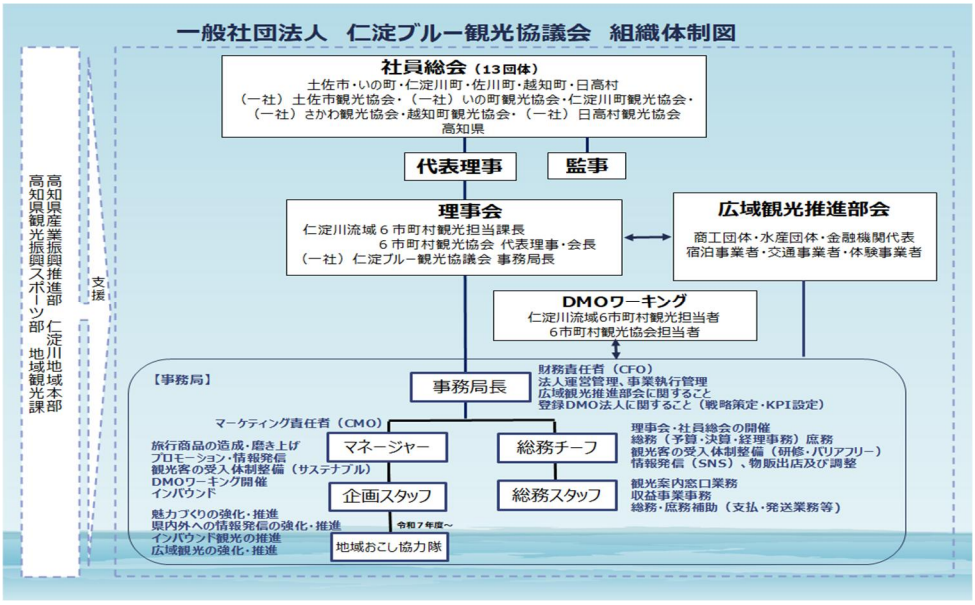
（単位:人）

カテゴリー	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
飲食	56,943	74,221	148,344	144,352	145,662
施設	41,959	53,666	84,866	103,179	107,361
宿泊	43,757	52,302	80,744	82,503	76,482
体験	123,245	143,778	166,324	173,370	155,673
物産	632,504	610,625	601,986	879,361	920,732
総計	898,408	934,592	1,082,264	1,382,765	1,405,910

実施体制

【実施体制の概要】
高知県仁淀川流域の 6 市町村と各観光協会、高知県が構成団体となり設立した「一般社団法人仁淀ブルー観光協議会」が運営を実施する。
官民・産業間・地域間との連携を図る仕組みとして、当協議会の事業計画や事業評価等に対し、各市町村、市町村商工会、宿泊施設、交通事業者等を束ねている各観光協会や行政が意見を述べることができる組織として、「総会・理事会」、「広域観光推進部会」や「DMO ワーキング」を設置している。

【実施体制図】



２．観光地域づくり法人がマーケティング･マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

【区域設定の考え方】

平成27年度に高知県仁淀川流域を構成する6市町村及び各観光協会等で、（一社）仁淀ブルー観光協議会を設立した。旅行業免許（第2種）を取得し、「地域の旅行会社」として来訪者の利便性を向上させるため、地域情報の一元化や観光周遊メニュー造成などにより、既に仁淀川流域の滞在型・体験型観光を一体的かつ戦略的に推進している。

全国水質ランキングの良好な河川に 10 年で 8 回選出された「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かして、「自然景観」「食」「体験」「歴史文化」など個々の観光素材を効果的に組み合わせながら、個人客やツアー客の誘致を行っている点は、6 市町村とも共通している取り組みであり、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切であると考える。

【観光客の実態等】

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年度	令和 6 年度
観光客入込数（人）	898, 408	934, 592	1, 082, 264	1, 382, 765	1, 405, 910
旅行消費額（円）	1, 248, 802, 504	1, 391, 146, 181	1, 697, 868, 947	1, 942, 596, 153	2, 280, 400, 764
一人当たり旅行消費額（円）	1, 390	1, 489	1, 569	1, 347	1, 622

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
※観光資源の活用方法についても記入すること。
(観光施設)
主な観光施設として、新居地区観光交流施設「南風」、ドラゴン広場、いの町紙の博物館、土佐和紙工芸村、酒蔵ホール、佐川地質館、牧野富太郎ふるさと館、横倉山自然の森博物館、観光物産館おち駅、中津渓谷ゆの森などがあり、旅行商品造成時の受け入れ先等に活用している。
(商業施設)
主な商業施設として、主要市町にサンプラザ、サニーマート、サンシャインなどのスーパー、地のもん市場ハレタ、レストパークいの、道の駅土佐和紙工芸村、道の駅 633 美の里、まきのさんの道の駅・佐川、観光物産館おち駅などがあり、流域内物産の販売や休憩場所として活用している。
(自然)
自然として、奇跡の清流と呼ばれている 1 級河川の仁淀川、仁淀ブルーの 3 大スポットと言われているにこ淵、安居渓谷、中津渓谷や太平洋、石鎚山系、横倉山などが代表的なものであり、観光商品造成時の周遊ルートなどに活用している。
(文化)
歴史的な文化としては、農村歌舞伎、本川神楽、太刀おどり、盆踊り、秋葉まつりなどが代表的なものであり、見学等を目的とした旅行の提案や体験博のプログラムなどに活用している。
(スポーツ)
仁淀ブルーと言われている奇跡の清流仁淀川でのカヌー、ラフティング、サップ、太平洋でのサーフィン、カヤック、仁淀川の景観を楽しめるサイクリングなどが代表的なものであり、観光商品として活用している。
(イベント等)
土佐市・・・大綱まつり、宇佐港まつり、蓮池ハス祭り、産業祭など
いの町・・・いの町民祭り、紙のこいのぼり、氷室まつり、国際水切り大会、八代農村歌舞伎、大国様大祭など
仁淀川町・・・秋葉まつり、池川神楽、長者キャンドルナイトなど
佐川町・・・酒蔵ロード劇場、えびす大祭、さくら祭りなど
越知町・・・コスモスまつり、横畠キャンドルナイト、ぼんぼり桜まつりなど
日高村・・・小村神社大祭、能津花火大会、日高メダカ祭りなどが代表的なものであり、イベントを核とした旅行商品として活用している。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

	主要宿泊施設(施設)	収容人数（人）
土佐市	3	246
いの町	6	308
仁淀川町	4	243
越知町	3	53
合計	16	850

【利便性：区域までの交通、域内交通】
＜自動車＞
伊野 IC まで（高知道経由）
◆関西方面から：大阪 吹田 IC（山陽→淡路→徳島→高知）　約 240 分
◆中国方面から：岡山 IC（瀬戸中央→高松→高知）　約 120 分
：広島 IC（山陽→瀬戸中央→高松→高知）　約 210 分
◆四国方面から：高松中央 IC（高松→高知）　約 100 分
：高知龍馬空港(高知東部→高知)　約 40 分

＜鉄道＞
◆東京方面から:東京駅～伊野駅　　約 405 分
◆関西方面から:大阪駅～伊野駅　　約 255 分
◆中国方面から:岡山駅～伊野駅　　約 155 分
◆四国方面から:高松駅～伊野駅　　約 155 分
:高知駅～伊野駅　　約 20 分
※高知駅～伊野間は路面電車(とさでん交通)利用も可。

＜飛行機＞
◆東京（羽田・成田）～高知　　約 90 分
◆大阪（伊丹）～高知　　約 45 分
◆名古屋（小牧・中部）～高知　　約 60 分
◆福岡～高知　　約 50 分
※空港連絡バスで高知駅まで約 30 分

＜タクシー＞
仁淀川エリアを満喫できる「観光タクシープラン」
高知市内や伊野駅、佐川駅などから乗車可能
1 時間 7,300 円程度（4 時間以上　要予約）

【外国人観光客への対応】
・外国人旅行者への仁淀川流域の認知度向上と着地における利便性の向上を目的として、公式ホームページ上で提供する観光情報を多言語で表示している。
　また、公共交通機関で行く多言語パンフレットの作成や、令和 6 年度にはホームページで申し込みができる観光タクシーのインバウンド化も行った。

３．各種データ等の継続的な収集･分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	各施策の効果を図るため KPI として活用するため。	各市町村又は観光協会を通じ、カテゴリー（飲食・施設・宿泊・体験・物産）ごとの主な施設に平均消費単価実数又は参考価格を算出し、入込客数を乗じて算出。
延べ宿泊者数	各施策の効果を図るため KPI として活用するため。	各市町村又は観光協会を通じた主な宿泊施設への調査。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
リピーター率	各施策の効果を図るため KPI として活用するため。	アンケート調査を自主事業として実施。
ＷＥＢサイトのアクセス状況	WEB プロモーションを実施するために活用。	Google アナリティクスを活用し必要なデータを取得し、解析・分析。

観光客入込数	マーケティングに活用するため。	各市町村又は観光協会を通じた主要な施設への調査。

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

仁淀川流域の各市町村では、少子高齢化等に伴い人口減少が進んでおり、産業を取り巻く環境は一層厳しさを増している。こうした地域の課題に対し、（一社）仁淀ブルー観光協議会を中心として観光資源を活用し、魅力的かつ持続可能な観光地域づくりを図り、新たな雇用の創出や交流人口の拡大等により流域経済の活性化につなげていく。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ○高知県の中央部に位置し、高知市街地から30分～1時間圏内の距離 ○全国でも知名度の高い観光資源 ・水質日本一の仁淀川 （2010年～これまでに10回） 「奇跡の清流仁淀川」＝「仁淀ブルー」 （にこ淵・安居渓谷・中津渓谷） ・日本最古の路面電車の発着駅を有する ・清流仁淀川が育んだ食・文化・歴史資源が豊富（お茶・日本酒・土佐和紙等） ・地域ならではの食材が豊富 （キジ、赤牛、ウルメ、うなぎ、川魚、ツガニ、山菜） ○インフラツーリズムに取り組む先進地 ○全国大会が実施できるサイクリングコースを有する ○アニメツーリズム協会認定の聖地を有する ○世界植物学者 牧野富太郎博士の生誕地、植物研究フィールドを有する ○観光客が立ち寄りやすい場所に、直販所・道の駅（国道33・194・439号線）が多く点在している ○５つの酒蔵を有する	弱み（Weaknesses） ○仁淀川流域の認知度不足 ○一人当たりの旅行観光消費額が低い ・宿泊施設が少ない（日帰り客が多い） ・来訪目的が自然散策やドライブ等が多く消費に繋がりにくい ・「仁淀川流域GAP調査」より周遊性が低い ○二次交通の利便性が悪い ○観光施設の整備が不十分 ・道路整備が不十分で、大型バスの乗り入れができない、駐車場が少ない ・Wi-Fi、洋式トイレ、キャッシュレス決済等のインバウンド対策の遅れ
外部	機会（Opportunity） ○平成24年にNHK番組で仁淀川が「仁淀ブルー」として全国紹介されてから多くのメディアで話題 ○国道33号線高知西バイパス開通 ・令和3年12月全線開通によるアクセス・所要時間の短縮 ○令和5年6月に新たに「まきのさんの道の駅・佐川」が開駅	脅威（Threat） ○地域人口の減少 ・事業者の高齢化により、体験や伝統料理等を伝授する人が減少、後継者問題 ○他地域における活発な観光振興 ・カヌー、ラフティング等は、県内でも四万十川や吉野川など競合相手が多いため、他のエリアとの差別化を図ることが必要

環境	○“高知・仁淀川を愛する”著名人による情報発信がされている ○高知県において観光博覧会の開催 ○サイクリングの全国大会「高知仁淀ブルーライド」を開催（毎年） ○四国遍路（日本遺産） ○ONSEN・ガストロノミーウォーキングの開催（令和 6 年度） ○「伝統的酒造り」ユネスコ無形文化遺産に登録 ○大阪・関西万博（2025 年）による関西圏とのつながり、インバウンド市場の拡大	

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第１ターゲット層
首都圏・関西圏・中四国の仁淀川流域に非日常感や癒しを求める、情報取得感度と拡散力が高い 30～60 代の女性層

○選定の理由
【ターゲットエリア】
来訪者アンケートより、中四国（5 割）、関西圏（2 割）、首都圏（1 割）と他地域より来訪者が多く、また関西・中四国エリアは、交通手段として最も多い自家用車（7 割）での来訪が可能な地域であるため。
【来訪目的】
ターゲットエリアで行ったＧＡＰ調査より、「仁淀川の自然散策・ハイキング」（4 割）、「自然景観」（3 割）、「温泉」（2 割）等といった非日常感や癒しを求めて来訪される傾向が高かったため。
【年齢層】
ターゲットエリアの来訪目的で 30～60 代の女性の興味・関心が高い傾向にあったため。

○取組方針
透明度が高く川の水が青く見える「仁淀ブルー」と呼ばれるスポットをフックに、公式ホームページや SNS を活用した情報発信による誘客。
観光タクシープランの造成・ネット予約販売により、ターゲット層の交通の利便性を向上し周遊促進を図る。

○ターゲット層
台湾・欧米の訪日客

○選定の理由
・2025 年に開催されている大阪・関西万博や高知龍馬空港への台湾チャーター便（毎週火曜日・土曜日）、大型クルーズ船の高知新港への寄港（年間約 100 隻）など高知県への来訪者数が多い台湾や欧米を選定。
・中四国の国際線空港を活用した団体・個人客が一定見込めるため。

○取組方針
・インバウンド向け観光タクシープランのネット予約販売
・四国ツーリズム創造機構、高知県観光コンベンション協会と連携したインバウンド商談会への

参加 ・インバウンド向け着地型旅行商品の造成 ・受入研修実施等によるインバウンド受入体制の強化

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	「奇跡の清流　仁淀川」＝「仁淀ブルー」ブランドを活用した魅力的かつ持続可能な観光地域づくり
②コンセプトの考え方	西日本最高峰の石鎚山から124ｋｍもの長い旅を経て土佐湾へ至る四国の川の三男坊、仁淀川。 この川の名が知られるようになったのは、「仁淀ブルー」と称される、奇跡的とも言われるほどの川の透明度の高さと川の水が青く見える美しさです。 この川は、川底に沈む石や岩の色、太陽の日差しや空模様、山の木々の色など様々な色を映し込み、四季折々、刻一刻とその表情を変えていきます。 「仁淀ブルー」の代表的なスポットとして、「にこ淵（いの町）」「安居渓谷（仁淀川町）」「中津渓谷（仁淀川町）」がありますが、来訪者から「フォトジェニックで解放感あふれる自然豊かなリラックスできる場所」として親しまれています。 私たちは、まずフックとして「奇跡の清流　仁淀川」を「仁淀ブルー」として紹介し、他地域とは差別化できる美しい場所・地域としての価値としています。 次に、この川の魅力は美しさだけではなく、豊かな自然を活かして、自然の中での体験プログラムはもちろんですが、地域に残る自然と共に生きる暮らしや豊かな自然があるからこそ育まれてきた食資源や文化など、歴史や伝統の奥深さを知って体験していただく楽しみを提供することで、周遊促進やリピーターにつなげていくことにしています。 代表的なものとして、仁淀川流域には茶畑・茶園、酒蔵が多く、土佐茶や土佐酒として味わうだけでなく茶摘みや各種のお茶づくり体験、酒蔵見学や試飲体験などを楽しんでいただけます。 また土佐和紙文化も平安時代から受け継がれ、今なお土佐和紙手漉き体験として体感していただけます。 いずれも全国的に知名度が高く他地域とは差別化でき、仁淀川流域の自然の中で滞在していただく価値としています。 しかし、近年は地球温暖化による仁淀川流域の自然環境を脅かす災害や観光客のマナー違反等の問題があり、仁淀川の水質への影響も危惧されています。このため、仁淀川流域ならではのサステナブルツーリズムの中で清流保全等に取組み、仁淀川の水質、ひいては「仁淀ブルー」を守っていくこととしています。 このように、地域の方々とともに、「奇跡の清流　仁淀川」＝「仁淀ブルー」というブランドを確立することで、多くの魅力的なコト・モノ・ヒトがある仁淀川流域に交流人口を創出し、地域経済が活性化されています。このあるべき姿を実現するため、仁淀ブルーを起点に、自然・歴史・文化・産業・食・人といったここにしかな

	い価値に訪れる観光客等が満足し、仁淀川流域に、何回も訪れてもらえる魅力的かつ持続可能な観光地域づくりを目指していきます。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整･仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	ワーキング（3 回/年）
	当法人の事業計画や事業評価等に対し、各市町村、各市町村商工会、宿泊施設、交通事業者等を束ねている各観光協会、行政が意見を述べることができる組織として、「DMO ワーキング」を設置し、地域の観光関連事業者とともに DMO 事業の進捗や協議を実施。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	マーケティング機能を強化（データ解析による公式 WEB サイトの充実化、継続的な来訪者アンケートの実施等）し、データに基づく地域の磨き上げを行い、満足度向上、誘客促進を図る。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	公式ホームページや観光ガイドブックを通じての一元的な情報発信、旅行会社等へのワンストップ窓口の実施、県外から高知県に来訪された観光客等に対して、着地型ガイドブックの配布等による効果的な誘客プロモーションを行う。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組みを定期的に確認・改善するため、少なくとも今後 3 年間における明確な数値目標を記入すること。
※すでに指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去 3 年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	1,857	2,102	2,380	2,826	3,107	未設定
		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(　)
	実績	1,698	1,943	2,280			
		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(　)
●一人当たり旅行消費額（円）	目標	1,613	1,773	1,949	2,143	2,356	未設定
		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(　)
	実績	1,569	1,347	1,622			
		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(　)
●延べ宿泊者数（人）	目標	65,040	66,990	69,000	74,520	74,520	未設定
		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(　)
	実績	80,744	82,503	76,482			
		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(　)

●来訪者満足度（%）	目標	98	98	98	98	98	未設定
		(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	( )
	実績	95	96	97			
		(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	( )
●リピーター率（%）	目標	50	50	52	52	54	未設定
		(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	( )
	実績	47	50	46			
		(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	( )

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

・令和 3 年度まで「旅行消費額」については、「一人あたりの旅行消費額」を指標として設定し、県が実施する「県外観光客入込・動態調査」の仁淀川調査分や来訪者アンケート結果を参考に算定してきたが、回答者の多くが宿泊客のため高い消費額になるなど偏りが生じていたため、令和 4 年度からの「仁淀川流域広域観光振興計画第 2 期計画」の策定にあたり、令和 3 年度に KPI の見直しを行った。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

・令和 4 年度以降は、仁淀川流域 6 市町村が指定した 65 施設について、施設ごとに、R2 年度の平均単価実数又は参考価格に入込数を乗じて各施設の観光消費額を算出し、同一カテゴリーの施設の観光消費額を算出し、カテゴリー（飲食・施設・宿泊・体験・物産）ごとの観光消費額を合計し算定した。

●延べ宿泊者数

・令和 4 年度以降は、仁淀川流域 6 市町村が指定した宿泊施設の入込数の合計を平成 29 年度から令和 2 年度まで算出し、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度を基準値とし、KPI を再設定しした。

●来訪者満足度

・令和 4 年度以降、これまでの実績も踏まえ令和 3 年度を起点に毎年度 10%増を目指し高めていく。

●リピーター率

・令和 4 年度以降、これまで年々少しずつではあるが割合が増えているため、令和 2 年度の 46%の実績を基準に 50%超を目標とする設定にした。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●観光客入込数（人）	目標	1,151,300	1,185,830	1,221,390	1,319,120	1,319,120	未設定
		(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	( )
	実績	1,082,264	1,382,765	1,405,910			
		(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	( )
	目標	48	48	50	50	52	未設定
		(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	( )

●仁淀ブルー、仁淀川の認知度　（%）	実績	52.3	67.8	65.2			
		（－）	（－）	（－）	（－）	（－）	（　）

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※KPI として設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとにできる限り具体的に記入すること。

【設定にあたっての考え方】

●観光客入込数

・令和 4 年度以降は、仁淀川流域 6 市町村が指定したカテゴリー（飲食・施設・宿泊・体験・物産）の 50 施設の入込数を調査。対前年 3%増程度の推移を見込む。

●仁淀ブルー、仁淀川の認知度

・令和 3 年度の直近の数値を参考に算定

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳(具体的に記入すること)	
2022（Ｒ４）年度	52,212,942（円）	【都道府県からの補助金】	15,250,000（円）
		【市町村からの補助金】	25,800,000（円）
		【受託事業収入】	7,265,000（円）
		【収益事業・雑費収入】	2,435,604（円）
		【協賛金・賛助会費】	160,000（円）
		【繰越金】	1,302,338（円）
2023（Ｒ５）年度	68,725,351（円）	【都道府県からの補助金】	14,400,000（円）
		【市町村からの補助金】	25,800,000（円）
		【受託事業収入】	20,988,000（円）
		【収益事業収入】	1,911,831（円）
		【協賛金・賛助会費】	110,000（円）
		【繰越金】	5,515,520（円）
2024（Ｒ６）年度	63,187,703（円）	【国からの補助金】	5,025,000（円）
		【都道府県からの補助金】	20,520,000（円）
		【市町村からの補助金】	26,116,000（円）
		【収益事業・雑費収入】	1,839,541（円）
		【協賛金・賛助会費】	290,000（円）
		【特定財源(参加費)】	575,000（円）
		【繰越金】	8,822,162（円）
2025（Ｒ７）年度	65,494,000（円）	【国からの補助金】	5,015,000（円）
		【都道府県からの補助金】	19,719,000（円）
		【都道府県からの委託金】	3,900,000（円）
		【市町村からの補助金】	27,120,000（円）
		【収益事業収入】	1,900,000（円）

		【協賛金・賛助会費】 240,000（円） 【特定財源(参加費)】 600,000（円） 【繰越金】 7,000,000（円）
2026（Ｒ８） 年度	61,200,000（円）	【都道府県からの補助金】 20,000,000（円） 【都道府県からの委託金】 5,200,000（円） 【市町村からの補助金】 26,260,000（円） 【収益事業収入】 1,900,000（円） 【協賛金・賛助会費】 240,000（円） 【特定財源(参加費)】 600,000（円） 【繰越金】 7,000,000（円）
2027（Ｒ９） 年度	61,200,000（円）	【都道府県からの補助金】 20,000,000（円） 【都道府県からの委託金】 5,200,000（円） 【市町村からの補助金】 26,260,000（円） 【収益事業収入】 1,900,000（円） 【協賛金・賛助会費】 240,000（円） 【特定財源(参加費)】 600,000（円） 【繰越金】 7,000,000（円）

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳(具体的に記入すること。)
2022（Ｒ４） 年度	52,212,942（円）	【魅力づくりの強化・推進事業】 7,203,309（円） 【県内外への情報発信の強化・推進事業】 8,032,482（円） 【受入・おもてなし体制の整備強化・推進事業】 63,100（円） 【広域観光の強化・推進事業】 1,243,999（円） 【アフターコロナに向けたインバウンド観光の推進事業】 578,000（円） 【管理運営事業】 23,533,487（円） 【受託事業】 4,274,324（円） 【その他】 1,768,721（円） 【繰越金】 5,515,520（円）
2023（Ｒ５） 年度	68,725,351（円）	【魅力づくりの強化・推進事業】 8,987,034（円） 【県内外への情報発信の強化・推進事業】 7,754,847（円） 【広域観光の強化・推進事業】 1,441,163（円） 【管理運営事業】 20,508,159（円） 【受託事業】 19,785,044（円） 【その他】 1,426,942（円） 【繰越金】 8,822,162（円）
2024（Ｒ６） 年度	63,187,703（円）	【魅力づくりの強化・推進事業】 15,394,131（円） 【県内外への情報発信の強化・推進事業】 8,671,141（円） 【広域観光の強化・推進事業】 1,469,381（円） 【アフターコロナに向けたインバウンド観光の推進事業】 1,128,920（円） 【管理運営事業】 26,776,427（円） 【その他】 933,462（円） 【繰越金】 8,814,241（円）

2025（Ｒ７） 年度	65,494,000（円）	【魅力づくりの強化・推進事業】 9,078,000（円） 【県内外への情報発信の強化・推進事業】 9,001,000（円） 【広域観光の強化・推進事業】 6,739,000（円） 【アフターコロナに向けたインバウンド観光の推進事業】 577,000（円） 【管理運営事業】 27,059,000（円） 【県委託事業】 3,900,000（円） 【その他】 1,400,000（円） 【繰越金】 7,740,000（円）
2026（Ｒ８） 年度	61,200,000（円）	【魅力づくりの強化・推進事業】 9,000,000（円） 【県内外への情報発信の強化・推進事業】 9,000,000（円） 【広域観光の強化・推進事業】 1,500,000（円） 【アフターコロナに向けたインバウンド観光の推進事業】 600,000（円） 【管理運営事業】 27,000,000（円） 【県委託事業】 5,200,000（円） 【その他】 1,400,000（円） 【繰越金】 7,500,000（円）
2027（Ｒ９） 年度	61,200,000（円）	【魅力づくりの強化・推進事業】 9,000,000（円） 【県内外への情報発信の強化・推進事業】 9,000,000（円） 【広域観光の強化・推進事業】 1,500,000（円） 【アフターコロナに向けたインバウンド観光の推進事業】 600,000（円） 【管理運営事業】 27,000,000（円） 【県委託事業】 5,200,000（円） 【その他】 1,400,000（円） 【繰越金】 7,500,000（円）

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

◆旅行商品販売手数料
・着地型旅行商品の造成・販売を強化し、手配等による手数料収入を増やす。
◆土産・特産品等販売手数料
・JR 駅構内の好立地を活かし､土産物等の開発を行うなど仁淀川流域の土産物の販売を行う。
◆仁淀川流域の構成６市町村からの負担金
◆高知県広域観光推進事業費補助金等の活用

８．観光地域づくり法人形成･確立に対する関係都道府県･市町村の意見

高知県、土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村は、一般社団法人 仁淀ブルー観光協議会を当該地域（高知県仁淀川流域）における地域連携ＤＭＯとして登録したいので、一般社団法人 仁淀ブルー観光協議会とともに申請します。

９．マーケティング･マネジメント対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

一部マネジメント対象エリアが重複する㈱ソラヤマいしづちとは、重複エリアである「いの町」に関しての協議を行うことにしており、年に数回、双方で情報共有を行い、誘客において連携を図っていく。

【区域が重複する背景】

いの町は旧伊野町・旧吾北村・旧本川村の 3 自治体が 2004（H16）年に合併して誕生した町で、旧伊野町エリアは高知市が主たる生活商圏であるが、吾北・本川エリアは、その地理的条件から愛媛県西条市が生活商圏（車で 1 時間以内）となっており、県境をまたいだ生活交流が盛んである。このことから「石鎚山」に隣接し、生活商圏を共にしてきた吾北・本川エリアを含む「いの町」が㈱ソラヤマいしづちにおいてもマネジメントエリアに含まれている。

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

当法人においては、旧伊野町エリアを中心に仁淀川流域においての滞在型・体験型観光コンテンツを開発・推進している。一方で㈱ソラヤマいしづちは、石鎚山系における滞在型・体験型観光コンテンツを開発・推進しており、異なるコンテンツ開発や推進を行っているため、業務そのものが重複することはない。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

上記のとおり業務に対する役割分担、マネジメントエリアの分割は上手くできているので、双方で情報を共有しながら有効なマーケティング・マネジメントを実施し、効率的かつ効果的に両エリアを発展させることが期待できる。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	山﨑　豊久
担当部署名（役職）	事務局長
郵便番号	789-1202
所在地	高知県高岡郡佐川町乙 2060-2（JR 西佐川駅内）
電話番号（直通）	0889-20-9511
ＦＡＸ番号	0889-20-9522
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@niyodoblue.jp

１１．関係する都道府県･市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	高知県
担当者氏名	仙頭　裕貴
担当部署名（役職）	観光振興スポーツ部地域観光課（課長）
郵便番号	780-8570
所在地	高知県高知市丸ノ内 1-2-20
電話番号（直通）	088-823-9612
ＦＡＸ番号	088-823-9256
Ｅ－ｍａｉｌ	Yuuki_sentou@ken2.pref.kochi.lg.jp

都道府県･市町村名	土佐市
担当者氏名	合田　尚洋
担当部署名（役職）	産業振興課（課長）
郵便番号	781-1101
所在地	高知県土佐市高岡町甲 2017-1
電話番号（直通）	088-852-7679
ＦＡＸ番号	088-852-4644
Ｅ－ｍａｉｌ	mirai@city.tosa.lg.jp

都道府県･市町村名	いの町
担当者氏名	曽我部　知枝
担当部署名（役職）	産業経済課（課長）
郵便番号	781-2192
所在地	高知県吾川郡いの町 1700-1
電話番号（直通）	088-893-1115
ＦＡＸ番号	088-893-1440
Ｅ－ｍａｉｌ	sankei@town.ino.lg.jp

都道府県･市町村名	仁淀川町
担当者氏名	荒木　紀和
担当部署名（役職）	企画振興課（課長）
郵便番号	781-1592
所在地	高知県吾川郡仁淀川町大崎 200
電話番号（直通）	0889-35-1083
ＦＡＸ番号	0889-35-0571
Ｅ－ｍａｉｌ	kikaku@town.niyodogawa.lg.jp

都道府県･市町村名	佐川町
担当者氏名	安岡　裕美
担当部署名（役職）	まちづくり推進課（課長）
郵便番号	789-1292
所在地	高知県高岡郡佐川町甲 1650-2
電話番号（直通）	0889-22-7740
ＦＡＸ番号	0889-22-1119
Ｅ－ｍａｉｌ	sk0201@town.sakawa.lg.jp

都道府県･市町村名	越知町
担当者氏名	田中　靖也
担当部署名（役職）	企画課（課長）
郵便番号	781-1301
所在地	高知県高岡郡越知町越知甲 1970
電話番号（直通）	0889-26-1164
ＦＡＸ番号	0889-26-0600
Ｅ－ｍａｉｌ	kikaku@town.ochi.lg.jp

都道府県･市町村名	日高村
担当者氏名	今井　明秀
担当部署名（役職）	産業環境課（課長）
郵便番号	781-2194
所在地	高知県高岡郡日高村本郷 61-1
電話番号（直通）	0889-24-4647
ＦＡＸ番号	0889-20-1525
Ｅ－ｍａｉｌ	sangyou@vill.hidaka.lg.jp

（登録）【地域連携DMO】一般社団法人仁淀ブルー観光協議会

様式２

記入日：　令和7年7月11日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
高知県土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村
【設立時期】 平成27年12月17日
【設立経緯】
①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設
【代表者】 代表理事　大原　哲夫
【マーケティング責任者（CMO）】 マネージャー　西岡　由紀
【財務責任者（CFO）】 事務局長　山﨑　豊久
【職員数】 ５人（常勤５人（正職員4人、臨時１人）
【主な収入】
国補助金5百万円、県補助金20百万円、6市町村補助金26百万円、収益事業2百万円、特定財源1百万円、繰越金9百万円 （2024（R6）年度決算）
【総支出】
事業費26百万円、一般管理費27百万円、収益事業経費1百万円、繰越金9百万円 （2024（R6）年度決算）
【連携する主な事業者】
体験プログラム事業者、宿泊施設、商工関係者（飲食店、土産店）、農林水産、商工団体、交通事業者関係

KPI（実績・目標）

※（ ）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度	2025（R7）年度	2026（R8）年度	2027（R9）年度
旅行消費額（百万円）	目標	1,857（－）	2,102（－）	2,380（－）	2,826（－）	3,107（－）	（－）
	実績	1,698（－）	1,943（－）	2,280（－）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	65,040（－）	66,990（－）	69,000（－）	74,520（－）	74,520（－）	（－）
	実績	80,744（－）	82,503（－）	76,482（－）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	98（－）	98（－）	98（－）	98（－）	98（－）	（－）
	実績	95（－）	96（－）	97（－）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	50（－）	50（－）	52（－）	52（－）	54（－）	（－）
	実績	47（－）	50（－）	46（－）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
・首都圏・関西・中四国の仁淀川流域に非日常感や癒しを求める、情報取得感度と拡散力が高い30～60代の女性層
・台湾、欧米の訪日客
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
①仁淀川流域の魅力づくりの強化・推進
②県内外へのプロモーション・情報発信の強化・推進
③仁淀川流域の受入・おもてなし体制の整備強化・推進
④6市町村連携による広域観光の強化・推進
⑤アフターコロナに向けたインバウンド観光の推進
【観光地域づくりのコンセプト】
「奇跡の清流 仁淀川」＝「仁淀ブルー」ブランドを活用した魅力的かつ持続可能な観光地域づくり

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・地域・期間限定「今だけ、ここだけ、あなただけ」の体験商品 を企画・造成（56プログラム）、567人が参加し、「仁淀ブルー体験博2024」を開催した。
・仁淀ブルースポットだけではない魅力を伝え、体験予約につながるサスティナブル・ツーリズムに取り組んだ。
【受入環境整備】
・「水質が最も良好な河川」に2010年からこれまでに10回選ばれた「奇跡の清流仁淀川」や「仁淀ブルースポット（にこ淵・安居渓谷・中津渓谷）」を活かした誘客に取り組み、二次交通対策として、24時間オンラインで日本語、英語、中国語(繁体字)から予約できる観光タクシープラン(定型コース・オーダーメイドコース)の造成・販売を行った。

▲仁淀ブルー体験博2024

▲BLUE　BREW